

# 日立市議会 だより

No. 229  
R6.1.20

## 令和5年 第4回 定例会



12/7~12/21

### 【主な内容】

- 新春のあいさつ(日立市議会議長)…………… 2面
- 委員会審査の概要…………… 4面
- 一般質問(13名が登壇)…………… 7面
- 特別委員会の開催状況…………… 14面

# 迎春





「新年にあたって」



日立市議会議長  
蛭田 三雄

皆様方には、令和6年の新春を健やかに迎えのことに、心からお喜び申し上げます。

また、日頃から、日立市議会の運営に対し、温かいご指導とご理解をいただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類へと移行され、社会経済活動の正常化に向けた新たな一歩を踏み出す年となった一方、9月の台風13号に伴う豪雨により、市内各所において甚大な被害を受けたことで、改めて防災・減災対策の重要性を認識した一年でもありました。

市議会といたしましては、市民の皆様への暮らしを守り、未来に向けたまちづくりの実現を目指し、引き続き議論を深め、市民の皆様のご意見を適切に市政に反映できるよう努めてまいりますので、更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい一年となりますようご祈念申し上げます。



## 議案紹介

### 議案第73号・第94号

令和5年度日立市一般会計補正予算(第4号)

30億2,556万6,000円

令和5年度日立市一般会計補正予算(第5号)

11億7,880万5,000円

令和5年9月8日の台風13号に伴う線状降水帯による豪雨では、日立市内において観測史上最大の降水量を記録し、道路や河川・水路の被害のほか、倒木、浸水、土砂崩れなどが発生しました。

今期定例会において可決・承認された一般会計補正予算のうち、被災者支援や災害復旧に関するものについて紹介します。

### 市民向けの支援

**災害支援経費** 約1億7,100万円

被災された方に対し、生活の再建に向けた支援金や災害見舞金、災害援護資金貸付金などの各種支援を行うための経費

**住宅応急修理支援事業費** 約6,400万円

災害救助法に基づき、被災された住宅の応急復旧を支援するための経費

など

### 事業者向けの支援

**中小企業等災害復旧支援対策経費** 約8,900万円

被災された市内中小企業の復旧作業を支援するため、建物や機械設備、業務用車両の修繕等に対する補助などを行うための経費

### 災害復旧

**道路災害復旧事業費** 約11億9,400万円

市内各地で発生した道路の陥没、法面崩壊、倒木などの復旧のための経費

**河川・排水路災害復旧事業費** 約7億4,700万円

市内各地で発生した河川・排水路の土砂流出、損壊などの復旧のための経費

**林道災害復旧事業費** 2億1,000万円

林道で発生した道路陥没や倒木などの復旧のための経費

**都市公園等災害復旧事業費** 約1億9,400万円

被災した小木津山自然公園、助川山市民の森等の都市公園の復旧のための経費

**農業施設災害復旧事業費** 約1億8,000万円

農地の法面崩壊や土砂流出、水路等の農業用施設の復旧のための経費

など

台風13号に伴う豪雨災害に対する支援制度等の情報は、市ホームページをご確認ください。



# 議案の議決結果



提出された議案を3つの常任委員会及び決算審査特別委員会で審査しました。審査の概要を4、5、14面に掲載しています。

## 【議案】

### 継続審査中の議案

第64号 令和4年度決算の認定について ..... 原案認定

### 今期定例会で提出された議案

第73号	令和5年度日立市一般会計補正予算（第5号）.....	原案可決
第74号	令和5年度日立市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）.....	//
第75号	令和5年度日立市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）.....	//
第76号	令和5年度日立市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）.....	//
第77号	令和5年度日立市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）.....	//
第78号	令和5年度日立市水道事業会計補正予算（第1号）.....	//
第79号	令和5年度日立市下水道事業会計補正予算（第3号）.....	//
第80号	日立市山本忠安にぎわい交流活性化基金の設置及び管理に関する条例の制定 について.....	//
第81号	日立市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について.....	//
第82号	日立市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する 条例の制定について.....	//
第83号	日立市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について.....	//
第84号	日立市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について.....	//
第85号	市道路線の認定について.....	//
第86号	市道路線の廃止について.....	//
第87号	市道路線の廃止及び認定について.....	//
第88号	日立市営住宅の指定管理者の指定について.....	//
第89号	日立市母子療育ホームの指定管理者の指定について.....	//
第90号	日立市太陽の家の指定管理者の指定について.....	//
第91号	日立市ひまわり学園の指定管理者の指定について.....	//
第92号	日立市しいの木学園の指定管理者の指定について.....	//
第93号	日立市障害者共同生活援助施設の指定管理者の指定について.....	//
第94号	専決処分について（令和5年度日立市一般会計補正予算（第4号））.....	原案承認
第95号	専決処分について（令和5年度日立市下水道事業会計補正予算（第2号））.....	//

## 【報告】

第22号	専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）
第23号	専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）
第24号	専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）
第25号	専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）
第26号	専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）
第27号	専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）
第28号	専決処分について（損害賠償の額を定めることについて）

## 【賛否の分かれた議案】 賛成：○ 反対：●

記載のない議案については、全員が賛成となりました。

議案の番号	日立市政クラブ								民主クラブ					公明党			無党派	無党派	無党派	無党派				
	佐藤三夫	蛭田三雄	飛田謙一	今野幸樹	藤森結花	照山晃央	赤津光司	岡部真二	磯野敦	吉田修一	白石敦	粕谷圭	助川悟	豊田茂	堀江紀和	高橋央	添田絹代	三代勝也	下山田幹子	篠田砂江子	永山堯康	伊藤智毅	小林真美子	石川香
第64号	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※1 議長は採決には加わりません。

※ 日立市議会では、3人以上の議員で会派を結成できることになっており、議会だよりでは3人未満の場合は「無党派」と表示しています。

※ 議員氏名は、会派ごとに期別年齢順で掲載しています。

# 委員会審査の概要

市長から提出された議案を、3つの常任委員会で専門的かつ能率的に審査しました。審査内容の一部を要約して紹介します。

## 総務産業委員会

審査した主な議案

令和5年度一般会計補正予算(第5号)

主な歳入

・国庫支出金（台風13号により被災した道路や河川などの公共土木施設の災害復旧工事を行うための財源など）

・寄附金（災害復旧事業や観光振興事業に対する寄附金など）

議案5件（補正予算1件、条例3件、その他1件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。



**意見** 豪雨災害からの復旧を令和8年度までを目途に実施する計画案が示されているが、この年度は総合計画前期基本計画の最終年度でもある。今はまさに、「災害復旧」と「まちづくり」の両方を成し遂げなければならぬ局面にあることから、新年度の予算編成では思い切った積極財政に打って出ていく時機ではないか。



主な歳出

・中小企業等災害復旧支援対策経費（台風13号により被災した市内中小企業の復旧費用の一部を県と協同して支援するための補助）

**問** 補助対象の事業者の範囲はどのようなものか。

**答** 個人が営むような小規模事業者は県の補助制度の対象であり、本市の補助制度はそれ以外の中小事業者を対象としている。

**日立市山本忠安にぎわい交流活性化基金の設置及び管理に関する条例の制定**

山本忠安氏からの寄附の趣旨に基づき、本市の地域資源を活用した観光の振興及びまちのにぎわい創出を長期にわたり安定的に推進するため、基金を設置する。

**日立市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定**

地方自治法の改正に伴い、会計年度任用職員に令和6年度から新たに勤勉手当を支給する。

令和5年度一般会計補正予算(第4号)

(専決処分)

主な歳出

・農業施設災害復旧事業費  
・林道災害復旧事業費  
（台風13号により被災した農業施設及び林道の復旧工事を行うための費用）

## 教育福祉委員会

審査した主な議案

令和5年度一般会計補正予算(第5号)

主な歳出

・通学援助経費（スクールバス運行管理業務委託料の減額）

議案13件（補正予算5件、条例1件、その他7件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。



**問** 委託料が予算より減額になった理由について伺う。

**答** 減額は入札結果によるものである。

**意見** 全国的にバス事業者は、燃料価格の高騰や運転手不足などの影響から経営が厳しく、減便や路線廃止などの対応を余儀なくされているとの報道がある。必要な予算措置を適切に行い、来年度以降もスクールバスを継続して運行できるようにしてほしい。



スクールバス

**意見** 学校給食の食材費の高騰に弾力的に対応し、とても素晴らしいことだと思つ。財源に限りはあるかもしれないが、引き続き、子供たちの給食の質を確保してほしい。



日立市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定

世帯に出生被保険者がいる場合、出生被保険者に係る産前産後期間の保険料を減額する。

■改正概要

減額期間

・単胎妊娠の場合…4か月間  
・多胎妊娠の場合…6か月間

実施日

・令和6年1月1日から



## 環境建設委員会

審査した主な議案

令和5年度一般会計補正予算(第5号)

主な歳出

・道路災害復旧事業費(台風13号に伴う豪雨被害への追加の復旧工事を行うための費用)

・吉田正記念事業費(経年劣化により不具合が生じている吉田正音楽記念館の空調設備を更新するための費用)

・桜の保護育成事業費(樹勢の衰えた平和通りの桜を更新するための費用)

議案9件(補正予算3件、条例1件、その他5件)を審査し、いずれの議案も原案を認めました。



令和5年度下水道事業会計補正予算(第2号)

(専決処分)

台風13号に伴う豪雨により被害を受けた下水道管路の災害復旧に係る経費等

市道路線の認定

開発行為に伴う鮎川町1丁目地内など5路線の認定

市道路線の廃止

公用廃止に伴う千石町3丁目地内の1路線の廃止

市道路線の廃止及び認定

常陸多賀駅周辺地区整備事業に伴う多賀町1丁目地内など7路線の認定

**問** 今回の桜伐採は、臨時的なものなのか。  
**答** 令和元年度に策定した、平和通り桜更新実施計画に基づき樹勢診断を実施した結果、倒木の危険性が高く、早急に伐採することが必要になり、臨時的に対応するものである。  
**意見** 市民の命や物損事故にも関わるため、樹勢判断と対応をしっかりとしてほしい。



日立市都市公園条例の一部を

改正する条例の制定

公園施設の設置に係る都市公園の使用料の規定を改める。



市道路線の現地調査(常陸多賀駅周辺)

## 市議会 Q & A

### Q：常任委員会について教えてください。

A：市議会で取り扱う内容は、防災・教育・環境衛生など、幅広い分野にわたっており、議案等を本会議の中できめ細かく審議することは困難です。

そのため、議案等を専門的・能率的に審査する議会の常設機関として、少人数の議員で構成する「常任委員会」を設置しています。

本市の常任委員会には、総務産業委員会、教育福祉委員会、環境建設委員会があり、議員はいずれか一つの常任委員になることとされています。

常任委員会名称	定数	主な所管事項
総務産業委員会	8名	広聴・広報、防犯・防災、戸籍、市税、観光、農業、林業、水産業、消防など
教育福祉委員会	8名	社会福祉、保健衛生、国民健康保険、公営住宅、小・中・特別支援学校など
環境建設委員会	8名	市民活動、消費生活、環境衛生、道路、河川、建築、上下水道事業など

### 令和5年度補正予算の概要

■一般会計補正予算(第4号)  
30億2556万6千円を増額

■一般会計補正予算(第5号)

11億780万5千円を増額  
(予算総額816億2839万8千円)

■特別会計補正予算(7会計合計)

27億7113万9千円を増額  
(予算総額532億6949万9千円)

### ワンポイント

解説!!

「専決処分」とは、本来、議案が議決しなければならぬ事項を、時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などに、行政運営の遅れや滞りを防ぐため、例外的に市長が議会の議決に代わり意思決定をすることです。

大雨や台風による災害復旧のための予算措置などが該当します。



議案質疑とは、提案された議案等（3面に掲載）に対して、疑問点や不明確な点などを執行部に聞くことです。

## 議案第73号

### 令和5年度一般会計補正予算 (第5号)

#### 治水対策事業費

**議員** 台風13号により被災した河川等の災害復旧に係る費用を追加補正するものと認識しているが、事業内容である流域治水基本計画策定業務委託について伺う。

**都市建設部長** 本事業は、今回の豪雨災害を踏まえ、市が管理する河川について、流域治水の考え方にに基づき、流域ごとに溢水要因と浸水範囲の検証を行い、必要な対策を検討し、流域治水対策を策定するものである。



田尻川

追加補正の内容及び理由は、計画に位置つけたハード対策のうち、治水効果が早期に発現できる護岸のかさ上げや線形の改良等に関する基本設計を追加するもので、計画策定と同時に進めることで迅速な対策が図られるものである。

## 議案第81号

### 日立市職員の給与に関する 条例等の一部改正

**議員** 市議会議員の期末手当の増加額及び改定後の期末手当の年間支給額について伺う。

**総務部長** 本条例は、国家公務員の給与改定に準じて、市職員、市議会議員、常勤の特別職及び会計年度任用職員の給与等を改定するもので、市議会議員については、期末手当の年間の支給月数を現行から0.1月分引き上げる。  
今回の改定により市議会議員の期末手当は年間で6万1200円増額され、改定後の年間支給額は208万800円となる。



## 議案第82号

### 日立市会計年度任用職員の 給与及び費用弁償に関する 条例の一部改正

**議員** 今回の改正により、会計年度任用職員に勤勉手当が支給可能となるが、本市の会計年度任用職員の処遇がどのように改善されるのか。

また、勤勉手当を支給する会計年度任用職員の対象人数と支給金額について伺う。

**総務部長** 勤勉手当の支給対象となる会計年度任用職員は、任期が6月以上で1週間当たりの勤務時間が15時間30分以上の職員であり、令和5年12月の期末手当の実績で約900人となっている。  
具体的な支給額は、職種や勤務時間により異なるが、一例として補助的な事務に従事する週30時間勤務の会計年度任用職員では、年間26万7000円となる見込みである。

## ワンポイント解説!!

「会計年度任用職員」とは？

多様化する行政需要に対応するため、職員の補助や専門的な職として1会計年度内（4月1日から翌年3月31日まで）を任期として任用される一般職の非常勤公務員のことです。

正規職員にはボーナスとして、期末手当と勤勉手当が年2回（6月、12月）支給されています。

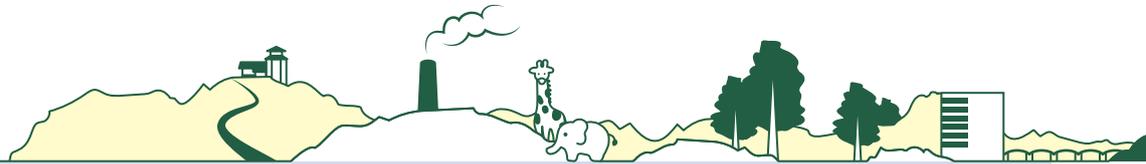
会計年度任用職員には、任期が6カ月以上で週の勤務時間が15時間30分以上の勤務条件の職員に対して、期末手当が支給されていますが、勤勉

手当については支給されません。

今期定例会では、地方自治法の改正に伴い、会計年度任用職員に勤勉手当を支給するための条例の改正について審議され、原案可決されました。  
令和6年度から会計年度任用職員には、期末手当のほか、勤勉手当についても支給されます。

	正規職員	会計年度任用職員
期末手当	支給	令和2年度から支給
勤勉手当	支給	支給なし
		↓ 令和6年度から支給





## 石川 香 議員（無会派）

台風13号及び線状降水帯  
による本庁舎被災  
—本庁舎被災に関する市民  
の声の受止めと対応—

**議員** 100億円以上を費やし、災害に強いとして建てられた本庁舎が、台風13号に伴う豪雨により被災し、本庁舎復旧事業に9月の専決処分で約2億円、今回の補正予算で新たに約2億円が計上された。今後の検証によつては、更に電源設備の移設や止水板の設置などの負担は少なくないと予測される。

それらが全て税金から出ていることに對して、不満や怒りを感じている市民は少なくない。市民に対して市からコメントを出すことや、多額の予算を使った「災害に強い市庁舎」が、想定外の雨で浸水し、電気系統も全て停止した原因について、現時点で分かる範囲で説明するなどの対応をすべきではないか。今後、どのように検証を進めていくのか、具体的な方針及びスケジュールについて伺う。

**総務部長** 本庁舎は被災後、関係者の御協力のもと、職員一丸となって全力で復旧に取り組み、被

(録画配信)



災の翌々日の9月10日に休日開庁を通常どおり行うことができた。本格復旧に向けて浸水及び電気系統停止の原因を明らかにし、効果的な対策を講じる必要があることから、今後、専門家の助言を基に検証を行い、その内容を分かりやすく市民の皆様の説明したいと考えている。

本年度未までに災害復旧基本計画を策定し、その後、(仮称)庁舎安全対策計画の中で原因分析を行い、対策の方向性を定めていく。計画策定に当たり、学識経験者やコミュニティ等の各分野の方々からなる市民懇話会を設置し、幅広く意見を伺っている。様々な声をしっかりと受け止め、計画にまとめ、災害に強いまちづくりにも全力を挙げて取り組んでいく。



被災した本庁舎

### その他の質問

● 日立市教職員の働き方改革と労働環境改善

## 赤津 光司 議員（日立市政クラブ）

公園ボランティアにおける  
公園管理の課題  
—今後の公園管理について—

**議員** 公園の美化活動を行うボランティアである「公園を守る会」の活動は、母体である町内会や子ども会の解散、高齢化により活動が先細りとなる現実が見えており、人口減少や担い手不足等の影響から、年々、市内のどの地区でもその深刻さを感じている。

公園を守る会の存続時は月1回の除草清掃を行っていたが、現状の市の管理では年2回程度しか行われず、雑草が目立ち、利用されない公園となりがちである。

市内の全ての公園を月1回の頻度で除草清掃する場合の予算は膨大であり、財政面を考慮するとやむを得ないと理解するが、地域公園の適正な維持管理を望む声を数多く聞いている。

今後高齢化の進行により町内会などの解散が増え、公園ボランティアが減少していく状況を踏まえ、今後の公園管理をどのようにしていくのか見解を伺う。

**都市建設部長** 公園ボランティアの主たる活動の草刈り作業は、高齢者にとつて非常に重労働で負

(録画配信)



担が大きいため、草刈り作業を理由とした活動の継続についての相談が増えている。

草刈り作業の軽減を図る支援策として、令和3年度から自走式草刈機の貸出しを行っており、今年度からは、草刈り場所までの運搬支援を始めたほか、自律走行無人草刈機(草刈りロボット)を試験的に導入し、省人化及び省力化の検証を行っている。

本市では、公園の魅力向上による利用促進及び維持管理の効率化を図ることを目的に、今後の公園の在り方の方針を定める「公園すてき化整備計画」を策定したところである。

今後は整備計画の基本方針に基づき個別計画の策定に取り組み、地区・公園ごとに小学生を中心とする子供たちや子育て世代、シニア世代など多世代との丁寧な対話を重ね、地域が求めるニーズを反映した魅力のある計画となるよう努めていく。

### その他の質問

● 生涯学習施設の充実  
● 悩みを抱える子どもたちへの気づき

## 三代 勝也 議員（公明党）

行政窓口のサービス向上  
― 窓口への軟骨伝導イヤホンの配置について ―

**議員** 耳が聞こえにくい高齢者等と円滑なコミュニケーションを取り、意思疎通を図るツールの一つとして、他自治体では軟骨伝導イヤホンの導入が進められている。このイヤホンは、耳の周囲の軟骨に振動を与えて音を伝える仕組みで、耳の奥に何かを入れることなく、外耳に当てるだけで音が聞こえるため、装着時の不快感が軽減されるようである。

最近では金融機関の窓口にも導入され始めているこのイヤホンを本市の窓口等へ導入することについて見解を伺う。

**総務部長** 耳が聞こえにくい高齢者等が窓口に来られた際は、大きな声での説明や筆談などの方法で対応しているが、感染症対策によりマスクやアクリル板越しに直面する状況であるため、聞こえにくい場合がある。

軟骨伝導イヤホンは、耳の周囲の軟骨に振動を与えることで音を伝える電子機器で、イヤホンを耳に軽く当てるだけで鮮明に音が聞こえ、音漏れもしにくく、大きな

声で会話をする必要がなくなることから、プライバシーの保護にも役立つ特徴がある。

本市では窓口に老眼鏡を設置しているが、軟骨伝導イヤホンのような新しい技術を活用した機器は、窓口等での対応をより円滑に進めるための効果的なツールになると考えられることから、引き続き、行政窓口サービスの向上に向け、軟骨伝導イヤホンの導入についても、他市町村などの先進事例を調査し、検討を進めていく。



軟骨伝導イヤホン

### その他の質問

- マイ・タイムライン普及のための取組
- 空き家対策の推進
- 視覚に障がいを持つ方に対する施策

(録画配信)



## 助川 悟 議員（民主クラブ）

教職員の負担軽減と学校教育  
のさらなる質の向上  
― 留守番電話の有効な運用について ―

**議員** 教職員の勤務時間外における保護者や外部からの電話対応が、事務の効率低下や長時間労働の要因となっていることから、市内全ての小・中・特別支援学校へ早期に留守番電話を設置することが必須であると考える。

既に留守番電話を導入している他県の学校では、18時以降に集中できる環境を整備することで、働き方改革や身体的・精神的負担の軽減効果が報告されている。

これらの効果は留守番電話が有効に活用されてこそ得られるものであり、そのためには、市内全校で統一した運用でなければ、保護者の理解も得られないと考える。

全面実施に向けた協議や、保護者や地域への説明、運用ガイドラインの作成や教職員への周知徹底などについては、教育委員会の主導により、留守番電話の設置と並行して取り組むべきであると考え、見解を伺う。

現在、小・中・特別支援学校全40校のうち32校に設置が完了した。

留守番電話を導入する際は、事前に学校運営協議会や市報等でお知らせすることにより、地域の皆様に学校の勤務時間について理解していただくことが可能となる。

また、児童生徒の安全に関わるような重大な事案が発生した場合は、教育委員会や市役所に直接連絡をもらうことで、学校と情報を共有し、緊急事態への対応を図っていく。

学校現場の意見等を参考に、全校統一的な運用に向けて、留守番電話の設定時間や緊急時の対応などを盛り込んだガイドラインを作成し、保護者をはじめ、市民への周知を図った上で、留守番電話の適切な運用に努めていく。



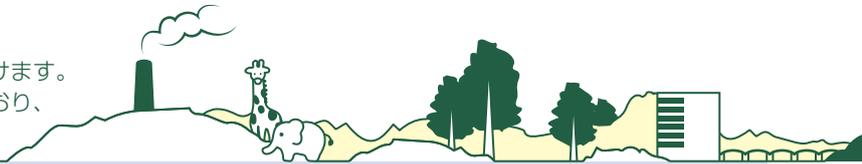
### その他の質問

- 財政政策
- オンライン診療の普及促進に向けた取組

(録画配信)



各議員の質問と答弁を要約して掲載しています。  
QRコードを読み取ると、一般質問の録画配信を全てご覧いただけます。  
日立市議会では、3人以上の議員で会派を結成することになっており、  
3人未満の場合は無会派と表示しています。



## 高橋 央 議員 (民主クラブ)

若者のシビックプライド醸成  
— 大学連携を核とした  
若者の政策反映について —

**議員** 本市が将来のまちづくりを考える上で、未来を担う若者の柔軟で斬新な声を聴き、受け止めることで、若者が地域に魅力や愛着を感じ、シビックプライドが醸成され、住み続けたいと思う好循環につながるものと考えています。

茨城キリスト教大学では、学生が地域の課題解決や活性化をテーマとした調査研究に取り組む「学生プロジェクト」を実施しており、若者視点での提案内容は政策の一助になったと考えるが、多くの提案内容が政策にどのように検討されたかが分からないため、単発的な提案になっていく実態がある。学生プロジェクトの提案内容に対する行政の認識と成果、改善点等を学生にフィードバックすることで、学生のやりがいの向上やプロジェクトの更なる活性化が図られ、シビックプライドの醸成につながるかと考えるが、見解を伺う。

**市長公室長** 学生プロジェクトは、地域活性化に寄与する人材の育成を図り、地域への愛着心の高揚を目的とする大学連携の核とな

(録画配信)



る取組であり、若者の定住にもつながるものと期待している。

本年9月に予算化が承認されたコミュニティ通貨アプリの導入など、市の課題解決への寄与が期待できる提案については政策に反映してきたところである。

市としては、今後も学生プロジェクトにおいて情報提供やアドバイスを行うほか、学生と関係課所長の意見交換や、提案内容の市政への反映状況のフィードバックを行うなど、学生プロジェクトの深化に努めていく。

若者の活躍を応援する「人への投資」の一端を担う大学連携事業を更に強化するなど、地域活性化や多様な人材の育成につながる取組を一層進めていく。



学生プロジェクト成果発表会

### その他の質問

● 今後に向けた防災対策

## 小林 真美子 議員 (無会派)

原子力安全対策  
— 東海第二発電所における  
安全性向上対策工事の  
防潮堤施工不良問題  
について —

**議員** 日本原電は、本年10月に、防潮堤基礎部分の施工不良のため6月から安全性向上対策工事が一時的に中断していることを公表した。

このことが立地自治体や周辺首長に報告されていなかったことは、日本原電の安全性に対する姿勢が問われる重大な問題であるため、市には、日本原電に対し安全性の確保を厳しく求めていただきたい。今回の防潮堤施工不良問題について、日本原電から市に対して、いつ、どのような説明があったのか。また、その対応について伺う。

**総務部長** 日本原電は現在、東海第二発電所について、国の新規制基準適合のための安全性向上対策工事を行っており、その一環である防潮堤基礎工事において、施工不良が確認されたものである。日本原電から市への本件に関する報告は、公表の3日前である10月13日に、報道機関に提供予定の資料に基づき、説明があった。

説明内容については、本年6月

(録画配信)



に、防潮堤基礎工事の鉄筋コンクリート部分において、コンクリートの充填不足による鉄筋の露出、一部変形等が確認されたもので、現在は工事を停止し、不備範囲の調査や原因の解明を進めており、今後、補修・補強等の必要な対応を図っていくとのことであった。日本原電からの説明を受け、市では事実確認後、約4か月間何も説明がなかったことに対して不信の念を表し、速やかな報告と事業者として住民への丁寧な説明を求めたところである。



東海第三発電所

### その他の質問

- 国民健康保険制度
- 大田尻川の油流出被害
- 新産業廃棄物最終処分場建設

伊藤 智毅 議員 (無会派)

台風13号の水害及び防災対策  
— 総合的な防災対策の強化 —

**議員** 東日本大震災以後、本市では主に震災対策を中心に災害対策を進めてきたが、線状降水帯発生に伴う豪雨による水害への備えは、これまでの防災対策だけでは不十分であり、改めて総合的な防災対策の強化が求められている。  
今回の水害で避難所となった小学校の体育館には、冷暖房や湯沸かし設備、食器類がなく、トイレも屋外であるなど、避難生活を営む上で必ずしも適切な場所ではない。これらが整備された市内23か所の交流センターを第一次開設の避難所として開設することや、避難所に併設した防災備蓄倉庫の設置場所、備蓄品の改善状況について伺う。

**総務部長** 総合的な防災対策の方向性については、令和5年台風13号災害対応に関する市民懇話会等の様々な機会を通して幅広い意見を聴取し、災害復旧基本計画にまとめ、全庁一丸となって実行していく。

御質問の事項については、コミュニティからも同様の意見をいただいていることから、今後の地域

(録画配信)



防災力向上のために整理すべき重要課題であると認識しており、懇話会での議論を踏まえ、課題の改善策について検討を進めていく。

防災備蓄倉庫の設置場所については実態調査を行っており、設置場所の変更や体育館までの通路の舗装等について、優先順位を付けて計画的かつ速やかに取り組んでいく。備蓄品についても、多様化する避難者のニーズを的確に捉えて随時改善を図っていく。



小学校体育館での避難訓練の様子

その他の質問

- 東海第二原発再稼働問題
- 次年度の予算編成
- 新産業廃棄物最終処分場建設
- 部活動の地域移行

磯野 敦 議員 (日立市政クラブ)

燃えるごみ集積所の環境改善  
— 市内ごみ集積所の  
ボックス化について —

**議員** ボックス型のごみ集積所は、カラスなどによるごみの散乱がなく、非常にきれいに管理することができることから、集積所の環境改善を図るために必要であると感じている。

ごみ集積所の環境は、地域の努力によって保たれてきたが、自治会の解散などにより管理が難しい状況である。

地域によってはボックス化が進んでいるが、費用負担などの問題によりなかなか進まない現状や、設置場所が狭あい地の場合には検討を要するという課題がある。

きれいなまちづくりを掲げる日立市にとって、集積所の環境改善は必須であり、ボックス化を進めることが課題解決の一番の対策であると考えるが、見解を伺う。

**生活環境部長** 本市では、燃えるごみ集積所の良好な環境の保全に向けた取組として、防鳥ネットの無料配布やごみの出し方に関するマナー向上の周知徹底などを行っており、ごみの散乱防止に努めてきたところである。

(録画配信)



一部のコミュニティにおいては、集積所のボックス化を進めるため、自らボックスを設置したり、設置費用の一部を補助する取組が行われてきたことにより、市内の集積所の半数がボックス化されている。

第4次環境基本計画における行動方針の一つとしてきれいなまちづくりを掲げる本市にとって、集積所の環境改善は喫緊の課題であり、集積所のボックス化を進めることにより、地域住民の生活環境の保全と環境美化に大きく寄与するものと捉えている。

このため、現在検討を進めている「ごみ等収集システム再構築事業」において、誰もが公平に身近な集積所を負担なく利用できる仕組みとして、適正な集積所の在り方や効果的な収集体制を構築する中で、ボックス化についても、計画的な推進を視野に入れながら更なる検討を進めていく。

その他の質問

- 学校再編後の学校施設の有効活用
- 地域リハビリテーションセンター

## 岡部 真二 議員（日立市政クラブ）

市民生活に必要な  
移動手段の確保  
—日立市の新たな  
地域交通ネットワーク  
について—

**議員** 地方都市の主な公共交通である路線バスは、利用者が減少することで収益が悪化し、サービスの低下により更に利用客が減る負のスパイラルにある。

また、大型2種免許保有者の減少や運転士の高齢化により運転士不足になり、路線バス運行システムの整理や減便が行われている。

このような中、JR常磐線やひたちBRTを基幹交通とし、コミュニティバスや自動運転バスを接続させるなどの新たな地域交通ネットワークを構築することで、利便性の向上や渋滞緩和のほか、高齢運転者の事故抑止や地域活性化にも寄与すると考える。

市民生活に必要な移動手段を確保するための地域交通ネットワークの構築について見解を伺う。

### 都市建設部長

バスの運転士不足は全国的に深刻化しており、本市においても、運転士不足等を理由に約1割のバス路線が減便され、今後も運転士不足が加速する見通

(録画配信)



しであるなどの課題がある。

そのため、策定に取り組んでいる日立市地域公共交通計画では、ひたちBRTや南北幹線の路線バスにより、山側住宅団地などの住宅地と交通結節点を結ぶことを基本的な考え方としているほか、デマンド型交通の拡充や、ひたちBRTの自動運転なども計画に盛り込み、地域や交通事業者と連携・協働しながら、地域公共交通ネットワークを構築していく。

今後も、国の動きを注視しながら、生活の利便性向上や円滑な移動手段を確保できる地域公共交通ネットワークの実現による機能的なまちづくりの形成を図っていく。



ひたちBRT自動運転バス

### その他の質問

- 諸物価高騰に対する支援給付事業
- 地域医療体制の確保

## 照山 晃央 議員（日立市政クラブ）

台風13号豪雨災害を教訓  
とした更なる安全・安心の  
まちづくり  
—災害をバネとする  
積極的な市政展開について—

**議員** 人口減少・少子高齢化に直面する本市では、今回の災害復旧のみにとらわれないことなく、将来を見据えたまちづくりを積極的に行わなければならない。

令和6年度は総合計画前期基本計画の中間年度であることから、まちづくりの道標となる前期基本計画の達成に向け、重要事業を着実に推進することを期待している。今後、災害復旧基本計画を策定し、様々な対策事業を実行することとなるが、災害対応や費用負担を理由に、積み上げてきた市政の歩みをとどめ、まちづくりの停滞を招くことはあってはならない。災害対応には多くの財源が必要であると認識しているが、それを負の側面として捉えるのではなく、災害復旧をバネに積極的なまちづくりを望む。

そこで、今後の市政展開に対する姿勢及び決意について伺う。

**市長公室長** 本市では、本格的な人口減少・少子高齢化社会の到

(録画配信)



来やデジタル化、脱炭素社会への対応など、複雑化・多様化する課題の克服を目指し、市政運営の新たな羅針盤として令和4年度から日立市総合計画がスタートした。その間、新型コロナウイルス感染症への対応が続き、今年度はこれまでに類を見ない豪雨災害に見舞われた。

このような時だからこそ、将来にわたる活力を維持し、誰もが安全・安心で、豊かに暮らせる未来を築いていかなければならない。

今回の豪雨災害にひるむことなく、その経験と教訓をバネに、時代の変化を的確に捉えながら、様々な課題を更なる成長の糧に変えて、力強く克服していきたい。本市が県北地域の中心都市として、更に魅力的で持続可能なまちの構築を目指し、その旗印となる総合計画前期基本計画を、市長を先頭に全庁一丸となって着実に推進していくことにより、全ての世代の方々が生き生きと輝く、安心と期待に満ちたまちづくりを進めていく。

### その他の質問

- 持続可能な効率的な水道事業の取組
- 複雑化する不法投棄の対策

下山田 幹子 議員 (公明党)

市民を災害から  
守るための施策  
—水位計と河川監視カメラ  
の整備について—

**議員** 国土交通省は、災害をいち早く知らせる水位計を全国の河川に整備し、水位をデータで見える化している。そのため、住民はスマートフォンでリアルタイムに情報を得て、避難行動の判断に上げることができる。

また、水位計とセットで設置されている河川監視カメラは、ウェブサイトで河川の水位状況をライブ配信することで、住民に自主避難を促すことができるものである。住民が防災無線等の避難情報を受けて早めの避難を心がけるため併せて、自分の命は自分で守る災害対策の一助とするため、水位計と河川監視カメラの更なる整備が必要であると考えるが、見解を伺う。

**総務部長** 水位情報や映像等により、河川の状態をリアルタイムにウェブサイトで公開することは、市民が避難行動をとる上で一つの判断材料となるものと認識している。また、河川の溢水等の危険が差

(録画配信)



し迫ったエリアの住民に対し、様々な媒体で注意喚起する広報が実施できれば、市民に的確な避難誘導を促す有効な取組になると考えている。

水位計や河川監視カメラの設置については、10月に実施した各コミュニティへの災害対応に関するヒアリング調査でも意見をいただいていることから、台風13号に伴う豪雨災害に関する市民懇話会の今後の議論を踏まえ、市管理河川における新設や、国・県管理河川への追加設置要望等について検討していく。



河川監視カメラが設置されている十玉川

その他の質問

- 公立の障がい者施設内への見守りカメラ設置
- (仮称) まちなかにぎわい交流施設

添田 絹代 議員 (公明党)

災害時にも対応することの  
できる炊飯施設の建設

**議員** 日立市公共施設マネジメント中期行動計画において、「北部調理場の敷地内に炊飯施設の増設を検討する」との方針が定められている。台風13号に伴う豪雨被害を受け、炊飯施設建設については、災害時にも炊き出しなどに対応できる施設として考えていかなければならないと強く感じた。

今後、本市が炊飯施設の建設を検討する際、学校給食への対応だけでなく、災害時にも対応できる防災対応型炊飯センターとしての機能を備えた施設とし、北部調理場敷地内ではなく、本市中央部への建設を検討する必要があると考えるが、見解を伺う。

**教育部長** 児童生徒数の減少等により、学校給食における米飯供給事業者が撤退するなど、全国の地方都市において米飯の安定供給が課題となっている。県内においても、米飯供給事業者が撤退するなどの理由から、学校共同調理場のある35市町のうち7市町が直営の炊飯施設を整備している。本市の炊飯施設建設については、令和2年度から北部調理場敷地内

(録画配信)



への建設を検討してきたが、建設費や運営費の高騰が見込まれることや、児童生徒の減少に伴う給食提供数の変動などの課題があるため、配送に効率的な立地等も含めて総合的に検討する必要がある。また、本市では、災害に備えて防災備蓄倉庫に食糧備蓄等をしているが、避難所開設の長期化に備え、複数の食糧確保のための手段を講じることは有用である。本市としては、将来的な給食用米飯の安定供給と、大規模災害時にも供給が可能な炊飯施設として、国の補助要件等の精査や他市町村の先行事例も参考にしながら、引き続き調査研究を進めていく。



北部学校給食共同調理場での調理の様子

その他の質問

- 市民が投票しやすい選挙投票所
- 高齢者の介護施策の現状と課題
- 産後ケア事業のさらなる充実策

篠田 砂江子 議員（公明党）

災害時の被災者支援  
— 民間住宅を活用した  
避難時の支援策について —

**議員** 被災者が一時避難先として市営住宅に入居する場合、エアコン等の家電は被災者本人が準備することとなるため、今回の豪雨災害による市営住宅への避難者から、「市営住宅の提供に感謝しているが、猛暑の中の避難は暑さが身にこたえた。」との声を聞いた。秋田市では、独自事業として、民間住宅を借り上げて被災者に一時的に提供している。民間住宅には風呂、エアコンが設置されており、マンション・家電なども設置されているところもあり、被災し大変な思いをして避難された方も安心して入居できると考える。

本市としても、被災者に寄り添った支援を行うため、民間住宅を活用した避難が必要ではないかと考えるが、見解を伺う。

**保健福祉部長** 市営住宅には火災やDV被害に遭われた方などの一時避難先として16戸の避難部屋を用意しており、避難者がすぐに生活できるよう、風呂、照明、ガス台、寝具を備え付けている。

**その他の質問**

- 緊急時の新たな取組
- 努力義務化された自転車乗車用ヘルメットの着用



今回の台風13号による豪雨災害については、すぐに使用可能な避難部屋に一般の空き部屋を加えた29戸により、災害発生翌日から受入れを開始した。

市営住宅には避難部屋を含めエアコン等は設置していないが、近年は温暖化の影響により室内で熱中症になるケースもあることから、今後は、避難された方が少しでも日常に近い環境で過ごすことができるよう、避難部屋の設備の充実について検討していく。

今後、より大規模な災害が発生し、更に多くの避難先が必要となる場合への備えも必要であり、市が民間賃貸住宅を借り上げて被災者に提供する賃貸型応急住宅制度の活用についても検討していく。

(録画配信)



## 令和5年の行政視察受入状況（令和5年12月末現在）

日立市議会では、全国の自治体議会からの行政視察を積極的に受け入れています。昨年も全国から多くの議員の皆様がお越しになり、日立市の先進的な取組を調査しました。

### ○ひたち型スマートライフについて

熊本県宇城市

### ○新庁舎の被害状況について

熊本県熊本市

### ○ふるさと納税について

茨城県つくばみらい市

### ○子育て支援施策について

長野県岡谷市

### ○ひたちBRTについて

石川県白山市、沖縄県西原町、愛知県岡崎市

### ○日立圏域 MaaS 実証実験について

宮城県名取市、宮城県大和町、広島県大竹市

### ○日立地区産業支援センターについて

島根県出雲市

### ○臨海工業地域の広域連携による産業振興について

埼玉県

### ○道の駅日立おさかなセンターについて

福島県田村市

### ○議員定数等について

茨城県ひたちなか市

# 特別委員会の開催状況

特別委員会は、特定の事件を審査する必要があると認められる場合に、議会の議決によって設置されます。

## 決算審査特別委員会 (9月14日～10月30日)

### 議案第64号 令和4年度決算の認定について

#### 審査の経過

- 9月14日 委員会を設置し、正副委員長の互選等を行いました。
- 10月16日 監査委員から決算審査意見書について説明を受けるとともに、現地調査(6か所)を行いました。
- 10月17日 各部から予算執行による行政効果等について詳細な説明を受け、活発～19日 質疑を行いました。
- 10月30日 最終報告に向けた委員間の協議を行いました。



交流センターのデジタル化の視察



かみね動物園猛獣舎の視察

#### 委員長報告

令和4年度の決算について審査し、5件の要望を付した上で原案を認めました。

#### 要望

##### ① 更なる移住促進に向けた効果的な取組の推進

更なる移住を促進するためには、希望に沿った仕事とのマッチング支援などを図るとともに、移住者の意思決定に影響を与えた要因等に関する調査・分析を通じて、これまでの施策の費用対効果や課題を検証し、市長公室と都市建設部を先頭に、全庁的な連携強化を図りながら、更に効果的な事業の推進を図ること。



移住PR動画「ひたちDIARY」

##### ② 総合防災マップの活用による防災対策

防災マップなどを様々な機会に活用し、一人ひとりの防災意識を高めるとともに、各種情報媒体をフルに活用してあらゆる災害情報を早期に発信し、最適な避難行動を喚起することで、市民の命と暮らしを守る防災・減災対策を強力に推進すること。



日立市総合防災マップ

##### ③ 適正な公共施設マネジメントの推進

将来的な人口減少による税収の減少を想定した上で、施設の複合化や最適化、借地の解消を進めるとともに、公共施設の維持管理及び適正配置のための取組に対して、公共施設等総合管理基金を効果的に活用しながら、公共施設のマネジメントの推進を図ること。

##### ④ 買物弱者に対する支援策の拡充

住民ニーズを的確に捉え、新たな事業展開を視野に入れながら、庁内横断的かつ事業者・各種団体と連携・協力し、買物弱者に対する支援策の拡充を図ること。

##### ⑤ ICT支援員の更なる活用

ICT支援員の業務範囲について、学校教育の現場における様々なICTの利活用の方法を提案し、成功事例を各学校で共有できるように働きかけるなど、教職員の働き方改革の推進も意識しながら、ICT支援員が積極的に関わる仕組みを構築し、更なる活用を図ること。



ICT支援員による授業のサポート

令和  
4年度  
決算

税金の  
使い方を  
チェック  
しました



決算審査は、決算書等の関係諸表の正確性を検証するとともに、予算の執行や事業の経営が適正で効果的に行われているかを点検します。「効果はあったか?」「無駄はなかったか?」市議会の決算審査が、今後の予算編成に生かされます。

#### 特別委員会委員

委員長… 照山 晃央  
副委員長… 堀江 紀和  
委員… 豊田 茂  
篠田砂江子  
藤森 結花  
今野 幸樹  
粕谷 圭  
三代 勝也



## ジャイアントパンダ誘致推進特別委員会(12月19日)

ジャイアントパンダ誘致に向けた取組状況等について報告を受け、質疑を行いました。

### 報告の主な内容

- ・第4回パンダアートコンテストの開催
- ・パンダフェスの開催



パンダフェス オープニングセレモニー



パンダアートコンテスト

## 幹線道路整備促進特別委員会(12月18日)

幹線道路整備促進期成会の要望活動について説明を受け、質疑を行ったほか、茨城県が進める「国道245号日立港区北拡幅」の現地を調査し、擁壁工事の進捗状況を確認しました。



国道245号日立港区北拡幅の現地調査



国道245号日立港区北拡幅の俯瞰写真

至高萩市

←道路計画線

至東海村

## 議会日誌

10月

- 13日…茨城県市議会議長会定例会
- 16日～19日…決算審査特別委員会
- 25日～26日…全国市議会議長会研究フォーラム
- 30日…決算審査特別委員会

11月

- 14日…議会運営委員会
- 20日～21日…茨城県市議会議長会第1回議員研修会
- 22日…各常任委員協議会
- 30日…議会運営委員会

12月

- 4日…議会運営委員会
- 7日…第4回市議会定例会開会（議案説明）、全員協議会
- 11日…本会議（一般質問）、議会運営委員会
- 12日…本会議（一般質問）
- 13日…本会議（議案質疑、委員会付託）、広報広聴委員会
- 14日…各常任委員会・委員協議会
- 18日…幹線道路整備促進特別委員会
- 19日…ジャイアントパンダ誘致推進特別委員会
- 20日…議会運営委員会
- 21日…第4回市議会定例会閉会（各委員長報告、表決）

# 傍聴者の声

## 私たちの街、日立をより良くするために

本宮町 浜田 律子



日立市庁舎が新しくなって、初めて議会の傍聴をさせていただきました。  
本庁舎7階にある議場は、木の香りがして、傍聴席は議員との距離が近く、自分も参加しているような気持ちになりました。  
台風13号で大きな被害を受け、いまだ元の生活に戻れない方々もいることを知りました。今後このような被害を防ぐための対策や避難所のあり方について、必死に訴える議員の姿を見て、こうして私たち市民の声が議会に届くのだと実感しました。  
また、町なかがにぎわうようにいろいろと意見を交わす様子を見て、私たちの日立市をより良い街にするために、私たち市民はもっと議会に関心を持ち、傍聴することも市民として大切なことではないかと思いました。  
皆さんも、お気軽に市議会を傍聴してみたいはいかがでしょうか。

3月定例会は **3月6日(水)**開会予定です。

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6 本会議 (開会)	7 議会運営 委員会	8 請願等の締切 (17:15まで)	9
10	11 本会議	12 本会議	13 本会議	14 本会議	15 常任委員会	16
17	18 常任委員会	19 常任委員会	20 春分の日	21 特別委員会	22 特別委員会	23
24 31	25 議会運営 委員会	26 本会議 (閉会)	27	28	29	30

※本会議及び委員会はどなたでも傍聴することができます。詳細については、議会事務局にお問い合わせください。  
※日程等は変更することがあります。市議会ホームページでご確認ください。

## 今号の表紙は

2024年(令和6年)の干支は「甲辰」  
です。十干の一番目である「甲」には「草木の芽生え、物事の始まり」という意味が、十二支の「辰」には「振(ふるう、ととのう)に通じ、草木が大きく成長し、形が整う」という意味がそれぞれあるとのこと。  
表紙は、昨年12月に多賀図書館で行われた「大人のための折り紙教室」の様子です。今年の干支にちなんだ辰の折り紙を先生に教わりながら、参加した皆さんで楽しく作成しました。



## 議会中継

ケーブルテレビ(JWAY)、FMラジオ(FMひたち)、パソコン・スマートフォン・タブレット(日立市議会ホームページ)で本会議が視聴できます！

※ホームページでは、本会議の日の約1週間後から録画配信を行います。

日立市議会



発行：日立市議会

〒317-8601茨城県日立市助川町1-1-1  
☎0294-22-3111(内線371,372)  
IP電話 050-5528-5113(直通)  
E-mail gikai@city.hitachi.lg.jp

編集：広報広聴委員会

委員長／白石 敦 副委員長／藤森 結花  
委員／高橋 央 照山 晃央 堀江 紀和 篠田 砂江子 今野 幸樹 三代 勝也